

## ママパラインの推進とネットワークづくり

☎「ママパライン」は、2008年商標登録

☎2002年に創設し、8か所でネットワークを組んで開設しています



ママパラインは、子どもを持つ親・家庭の子育ての悩みや不安に耳をかたむけ、話を聞いてもらったり、受け止めてもらうことで安定した気持ちを取り戻し、養育者自らが、解決への力を取り戻し（レジリアンシー）新しい人間関係づくりや育児を前向きに楽しめるようにします。傾聴によるエンパワメントでもあり、虐待の未然防止としての効果も期待されています。

「気軽に聴いてくれる電話・話せる電話」としてハードルが低いことが、社会的な存在価値です。「聴いてもらって気持ちが楽になった」「スッキリした」などの声からは、共感的に受け止める「傾聴」による応援が、解決が困難な状況でも、解決に向かう勇気や、気持ちを整理し前を向く力をもたらしています。名前も住所もお聞きしません。もちろんプライバシーは守ります。お気軽にお電話ください。

全国キャンペーン：2021年2月5日（月）～20日（土）

8か所で6日間毎日開設します。

- ①ママパラインほっかいどう  
電話・常設：080-6062-4735 毎週月曜日 13時～16時  
実施団体：特定非営利活動法人 こども・コムステーション・いしかり（連絡先 0133-64-5640）
- ②ママパライン仙台  
電話・常設：022-773-9140 毎週金曜日 10時～16時  
実施団体：特定非営利活動法人 せんだい社の子ども劇場（連絡先：022-375-3548）
- ③ママパラインふくしま  
電話・常設：0242-85-7878 毎月第1・3木曜日 10時～16時  
実施団体：会津子ども劇場（連絡先：0242-27-0588）
- ④ママパラインちば  
電話・常設：043-204-9390 毎週金曜日 10時～16時  
実施団体：特定非営利法人子ども劇場千葉県センター（連絡先：043-301-7262）
- ⑤ママパライン東京川の手  
電話・常設：03-3633-0415 毎月第1・3金曜日 13時～16時  
実施団体：特定非営利活動法人こうとう親子センター（連絡先：FAX 03-3634-4085）
- ⑥ママパラインあいち  
電話・常設：052-203-8655 毎週水曜日 10時～16時  
実施団体：特定非営利活動法人名古屋おやこセンター（連絡先：052-205-8881）
- ⑦ママパラインわかやま  
電話・常設：073-432-3690 毎週火曜日 13時～16時  
実施団体：特定非営利活動法人子どもNPO 和歌山県センター（連絡先：073-432-3664）
- ⑧ママパラインひょうご  
電話・常設：078-945-8333 080-3866-8333  
毎週水曜日 10時～14時  
実施団体：特定非営利活動法人兵庫県子ども文化振興協会（連絡先：078-361-1152）

特定非営利活動法人子どもNPO・子ども劇場全国センター  
〒133-0057

東京江戸川区西小岩 2-10-16 ライオンズマンション西小岩第3-402号

TEL：03-5876-8251 FAX：03-5876-8252 E-mail：info@kodomo-npo.org

HP <http://www.kodomo-npo.org>

子どもNPO・子ども劇場全国センターの前身である「全国子ども劇場おやこ劇場連絡会」の25年を経てその活動を継承し、経済企画庁より1999年4月に特定非営利活動法人として認証されました。

子どもが“子ども”として  
生きられる社会を



「子どもNPO・子ども劇場全国センター」は  
子どもとおとなのパートナーシップで  
子どもたちが、夢と希望をもてる社会を目指します。

私たちは地域における芸術的体験や、野外での遊び体験、社会体験を通じ、子どもと大人が共に育ちあい、子どもが社会参画をする機会を広めていく、全国の地域NPOとのネットワークを組んで活動している全国規模の団体です。子どもの権利条約の理念を基本とし、わくわくドキドキする感動や子どもも大人も「安心してできる環境づくり」を広めると同時に、市民社会を築くための基盤整備にも貢献しています。



特定非営利活動法人 子どもNPO・子ども劇場全国センター

子どもNPOや子ども劇場は  
全国各地の拠点で活動を展開  
全国的なネットワークで活動をしています。

### 子どもNPO・子ども劇場全国センターの事業

#### 子どもNPOに関わる法制など基盤整備に関する活動と情報提供

- ①NPO法(+NPO法人会計基準)のPR及び普及 認定NPOの税制
- ②会員等に情報をリアルタイムで発信し、相互の情報交換を充実と連携。
- ③県・市町村行政やNPOの子ども施策活用先の実践例や成功例を情報提供する。

#### 子どもの育ちと芸術文化事業の推進をはかる活動

- ①被災した子ども・家庭・コミュニティを長期的に支援する活動
- ②長期入院の子ども等、被災した子どもたちへのホッとアートプレゼントの機会の提供
- ③心が傷つきケアを必要としている子どもたちに、あそびやワークショップを届ける活動



2017年度：全国18病院、21児相、2乳児院、2幼稚園、1学校 2,839人に届けました。  
2018年度：全国25病院、14児相、3乳児院、14児童福祉施設、1幼稚園、3学校 2,649人に届けました。  
2019年度：全国17病院 10児相 6乳児院 5児童福祉施設 7子どものひろば他 1,741人に届けました。

#### (ホッとアート 2012年商標登録)

子どもたちを「笑顔」にしたい！！その願いから始めた事業です。  
全国の団体正会員のネットワークを活用し、各団体が財源を確保しながら継続して事業を行っています。長期入院している子どもたちを真ん中に、プロによるクラウンや人形劇、マジック ワークショップなどを届けています。夢になれる楽しいひとときを小児病棟のみんなが一緒に参加し体験することで、辛い治療や病気を一瞬でも忘れ、ホッとできる時間を共に喜び合い感動的な交流の場になっています。また、東日本大震災後、被災地の子どもたちへの支援として、児童館や小学校、乳児院、児童養護施設、被災保養地等で、実施を拡げています。



### 夢や希望が語れる社会を一子どもとともに

私たちは、1966年の活動開始以来、芸術体験、自然体験、社会体験を通じ、子どもと子育てにかかわる人々と共に歩んできました。半世紀を超える民間活動を支えてきたものは、子どもが宿す底知れぬエネルギー、一人ひとりが異なる輝くような魅力、そして子を慈しむ親の愛情です。いつの時代にあっても子どもたちは、人間や自然に対するやさしさ、強さ、まっすぐな希望の芽を宿しています。

しかし今、いじめや、体罰、虐待、貧困等将来に対する不安などから、子ども本来のびやかさを失っているように感じます。養育者も子育てへの不安を抱えています。これら子どもや子育ての地域課題を、地域も家庭も学校も社会全体で解決しようと、新たな関係とあり方を求めて動き出そうとしています。

子どもを育てるということは、やがて社会を支える人材を育成することであり、親の力によってのみ育てることはできません。時代と社会全体が変質する中であっても、子どもは社会の一員になるために、地域社会の多様な大人と継続的にかかわるプロセスは欠かすことができない重要な体験です。

子どもには「豊かな子ども時代」を過ごす権利があります。  
多様な個性が輝き、夢や希望が語れる社会こそ。子どもが願う社会です。  
そんな社会の実現を、子どもと地域社会の人々と共に目指したいと思います。

正会員 (団体年会費 10 30,000 円 個人年会費 10 10,000 円)  
情報会員 (団体年会費 10 20,000 円)  
賛助会員 (団体・個人年会費 10 10,000 円)  
会費の振込先：三菱 UFJ 銀行六本木支店(普)1545598  
特定非営利活動法人子ども NPO・子ども劇場全国センター  
通常総会年 1 回開催 理事会:年 3 回開催 役員:理事 9 名・監事 1 名

#### 共済制度の普及 情報紙の発行

「団体共済制度」子どものための「NPO 総合保険」の普及  
アクティブレポートの発行